

2021年度「研究員研修」実施内容詳細

【研修の目的と考え方（要点）】

コロナの影響がしばらく続くことを想定し、「学びを止めない」「学びを持続させる」ことを念頭にプランニングしています。

- ・研修は半期ごと。半期で自らの課題オペラを1本勉強・研究する。水曜実施（金曜研修は当面実施しない）。
→1年で2本勉強することになります。
- ・申し込みは2か月ごと（＝フェーズ）
- ・ひとフェーズでオンライン研修7回（コマ数は14回）を実施。
- ・水曜研修以外に別途希望を募り、対面レッスン（有料）を実施。
- ・昨年度同様、前期・後期末に実施していた「試演会」は行わない。
- ・研修申込者＝時間内に歌唱ができる。
申し込みしていない全研究員（休学者含む）＝聴講。 ※ZOOM ミーティングで参加
→したがって毎週全研究員あてにメールで本日の研修内容をお伝えします。
- ・半期ごとのソロ試験は初音ホールにて従来通り実施。

【研修予定内容】

1フェーズ（2か月）におけるオンライン7回（14コマ）の予定内容

- ・中村敬一 講義&レッスン3コマ
- ・服部容子 講義&研究員発表4コマ→土曜のオンライン研究会に発表を念頭に
- ・島崎智子 ワンポイントアドバイス1コマ
- ・高橋大海 ワンポイントアドバイス1コマ
- ・実習（服部容子、津山 恵）5コマ

【詳細（上記と重複する内容もございます）】

- ・期 間： 1年を前期と後期に分ける。それぞれ期の最後にソロ試験を実施。
研修は前期と後期をそれぞれ2か月ごとの期間に分け（＝フェーズ）、フェーズごとに申し込みが必要。
ただし継続の場合は特に申し出がない限り、半期は自動継続。→2か月（1フェーズ）のみでも受講可。
- ・回 数： 各フェーズ7回（オンラインによる。前半後半と内容を分けるため、14コマの実施）
→半期では14回（28コマ）
- ・実施曜日： 水曜日（金曜研修は当面中止）
- ・時間： 前半 18:00-19:10 後半 19:20-20:30（多少前後する可能性あり）
- ・研修費： 水曜研修受講にあたって特別な料金は必要なし。
〔研修費＝在籍費は従来通り プリーマのみ 22000円（半期の金額） ディプローマは無料〕
※会員年会費 12000円はプリーマもディプローマも別途支払いあり（休学者も）
- ・聴講： 水曜研修申し込み者以外の研究員、休学者は全研修日聴講可能
→2020年度実施のウェビナーではなく、ミーティングで入室（画面上の名前を 聴講～とする）。歌唱はできない。
- ・有料対面レッスン：水曜研修履修者以外も受講可能。講師：服部先生、中村先生を中心に。別途調整します。
- ・スケジュール
《前期》（自身の課題オペラの勉強・研究）※課題はオペラ1作品を各自で決める
 - 自習期間 5月
 - 第1フェーズ
6-7月 水曜7回〔オンライン7回〕
※土曜夜、日曜など平日以外に希望者に対面レッスン実施（有料、2回程度予定）
 - 第2フェーズ
8-9月 水曜7回〔オンライン7回〕

※土曜夜、日曜など平日以外に希望者に対面レッスン実施（有料、2回程度予定）

■前期試験 ※全研究員対象 3分以上5分以内任意の楽曲

9月23日（秋分の日）

《後期》（自身の課題オペラの勉強・研究）※課題はオペラ1作品を各自で決める

■自習期間 10月

■第3フェーズ

11-12月 水曜7回〔オンライン7回〕

※土曜夜、日曜など平日以外に希望者に対面レッスン実施（有料、2回程度予定）

■第4フェーズ

1-2月 水曜7回〔オンライン7回〕

※土曜夜、日曜など平日以外に希望者に対面レッスン実施（有料、2回程度予定）

■後期試験 ※全研究員対象 3分以上5分以内任意の Aria

3月21日（春分の日）

入所オーディション

以下どちらかを選択し受験する。受験料は対面も音源審査も同一。日程は要項を参照のこと。

- ・対面による受験（従来通り）
- ・音源による受験（動画による）※オーディションは動画提出。

（アカペラ、伴奏ありどちらでも可。伴奏は受験者が手配。伴奏音源が必要な場合は別途料金を頂き、お渡し）